

自然に癒やされる。



滝

日本の滝百選

新城ICより約15km

01 阿寺の七滝

あてらのななたき

阿寺川の礫岩の断層崖を全長62mに渡って7段の階段状に曲線美を描いて流れ落ちる滝。国指定の名勝天然記念物で「日本の滝百選」にも選ばれています。この礫岩は「子抱石」ともいい、こどもを授かるといういわれもあります。

新城市の一番の魅力と言えば、美しい自然。川の流れ、せみの鳴き声、秋は錦色の紅葉。一刻ごとに変わる自然をお楽しみください。

02 百間滝

ひやっけんたき

落差43mのみごとな滝は県内最大級で、日本最長の断層帯・中央構造線の深い谷にあります。

03 鳴沢の滝

なるさわのたき

市の北端にある落差15mの迫力ある滝です。夏の涼しさは格別で、多くの方が涼を求めに訪れています。

04 鮎滝

あゆたき

6~9月に多くの鮎がこの滝を遡上する様子から「鮎滝」と名付けられました。この滝では、ここでしか見られない伝統的な「笠網漁」が行われています。



POWER SPOT

中央構造線上の パワースポット

「中央構造線」は、関東から九州まで延びる断層で新城市の南東部を横断しています。その周辺にある百間滝や鳳来寺山は、聖地・霊場として信仰の対象とされ、古くから大地のパワーが宿る場所として知られています。

鮎滝の笠網漁

あゆたきのかさあみりょう

落差約4mの滝を遡上する鮎を長い竹竿の先に付けた笠網ですくい獲る笠網漁は、昔ながらの伝統漁法として出沢地区で継承されています。奥三河屈指の名勝として、また夏の風物詩として、ひと時の涼を与えてくれています。



私のおすすめは百間滝。落差43mもあるんだって。暑い夏には涼みに行って、秋には紅葉といっしょに観るの。時間があるときは滝めぐりもおすすめよ。

棚田

日本の棚田百選



05 四谷の千枚田

よつやのせんまいだ

新城ICより約20km

四谷地区の棚田は、鞍掛山麓(883m)に広がる石垣による棚田の田んぼです。高低差200mに現在およそ20戸の農家が420枚の田を耕しており、「日本の棚田百選」にも選ばれています。



06 鳳来峡・板敷川

ほうらいきょういたじきがわ

新城ICより約12.3km

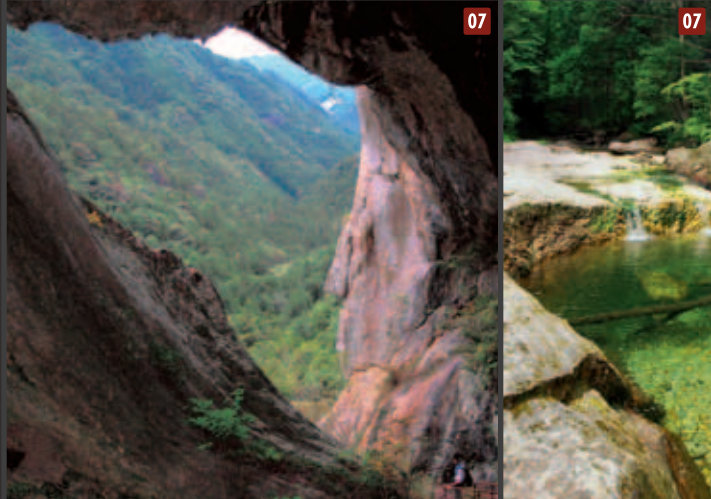
湯谷温泉を中心に宇連川の上下流約5kmの渓谷。川底は岩盤で、まるで板を敷き詰めたように見えることから「板敷川」と呼ばれています。

07 乳岩・乳岩峡

ちいわちいわきょう

新城ICより約20.5km

宇連川の支流、乳岩川の上流にある全長約3kmの渓谷。標高670mの乳岩山は岩山で、その岩塊には、洞窟があります。一番大きな洞窟の天井部には、乳房のような鍾乳石が垂れ下がっていることから「乳岩」と呼ばれています。



08 東海自然歩道

とうかいしぜんぽどう

東京の高尾から大阪の箕面までの全長1697kmの自然歩道のうち市内の歩道は、静岡県境から設楽町の鞍掛山に至る約33kmの区間で、阿寺の七滝や鳳来寺山等の名所をめぐるができるだけでなく、難所と言われる棚田、宇連山周辺では、本格的なトレッキングが楽しめます。



乳岩には、大きな岩にぽっかり穴が空いた自然のフレーム「通天門」や、乳岩洞窟もあるよ。歩く途中には、鉄階段や岩場も多いので、運動に適した服装・靴で臨もう！

